

平成 27 年 2 月 23 日

各 位

会社名 株式会社ユーグレナ
代表者名 代表取締役社長 出雲 充
(コード番号：2931)
問合せ先 取締役 永田 暁彦
経営戦略部長
(TEL.03-5800-4907)

Chevron Lummus Global, LLC とのバイオ燃料精製実証設備の建設に向けた基本合意について

株式会社ユーグレナ（本社：東京都文京区、社長：出雲充）は、2015年2月20日に、バイオ燃料精製実証設備の建設に向けて、Chevron Lummus Global, LLC（シェブロンラマスグローバル社、以下 CLG 社）とバイオ燃料アイソコンバージョンプロセス技術※を採用することに関する基本合意契約を締結したことをお知らせいたします。CLG 社は、米国の石油メジャーである Chevron U.S.A. Inc.（シェブロン社）と米国の建設・エンジニアリング大手の CB&I Technology Ventures（CB&I 社）の合弁子会社です。

※CLG 社と米国研究開発・エンジニアリング会社の Applied Research Associates（ARA 社）が共同開発した独自のバイオ燃料製造技術

当該基本合意は、バイオ燃料精製実証設備を建設するために必要なバイオ燃料アイソコンバージョンプロセス技術ライセンスの付与、設備の基本設計、触媒の提供を CLG 社と ARA 社が当社に対して実施することに関して合意するものです。2015年3月中を目処にライセンス契約等の締結を実施し、その後バイオ燃料精製実証設備の設計、建設を開始する予定であり、当該技術の採用はアジア初となります。

当社は、バイオ燃料アイソコンバージョンプロセス技術を活用したバイオ燃料精製設備を国内に建設することで、ミドリムシなどのバイオマスから抽出した油脂を国内でバイオジェット燃料に精製することを目指しており、今回の基本合意は当社が目標としているバイオジェット燃料事業の実現性を高めるものとなります。

また、バイオ燃料精製実証設備の建設費用には、2013年12月に当社が公募増資にて調達した資金のうち、「藻類由来油脂開発・生産設備」を目的とした設備投資資金を充当する予定です。なお、現時点で当期業績への影響は未定ではありますが、変更の必要が生じる場合は速やかに対応する方針です。

当社では「人と地球を健康にする」ことを経営理念に、今後もバイオ燃料の生産に向けた研究開発等を進めてまいります。

■シェブロンラマスグローバル社（Chevron Lummus Global, LLC）について

米国の大手石油会社であるシェブロン社（Chevron U.S.A. Inc.）と米国のエンジニアリング・建設大手の CB&I 社（CB&I Technology Ventures, Inc.）が設立した合弁会社で、石油精製等に関する種々プロセス技術を保有する米国ライセンサー・エンジニアリング企業。

<http://www.chevronlummus.com>

■ARA 社（Applied Research Associates）について

米軍の要請により開発に成功した、高温水によるバイオ粗油の精製技術および特許を保有する米国研究開発・エンジニアリング企業。 <http://www.ara.com/fuels>

■株式会社ユーグレナについて

2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ(和名:ミドリムシ)の屋外大量培養技術の確立に成功。微細藻類ユーグレナを活用した機能性食品、化粧品等の開発・販売とともに、バイオジェット燃料とバイオディーゼルの生産に向けた研究を行っています。2012年12月東証マザーズに上場。2014年12月東証1部に市場変更。

以上